

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



歌の練習をしている子どもたち(カンボジア孤児院)

皆さまの御支援、御協力、いつもありがとうございます。

8月の中旬に、甲府と北九州で、有志の方々がチャリティーコンサートを行ってくださり、多くの方々に、私共の働きを紹介して下さいました。

私共の働きを多くの方々に知っていただき、一人でも多くの方がパートナーとして、この働きに加わっていただけるのなら、これほどありがたいことはありません。

なにより、日本各地また、世界中に、私共の働きを覚えてくださっている方々がおられることが、なよりの喜びでもあります。本当に感謝致します。

さて、9月の下旬に、私共の理事を含む20名の方々がカンボジア孤児院を訪れます。様々なイベントを通して、子供たちと交流の時間が持たれますが、子供たちの元気な姿が報告されることを今から楽しみにしております。

ただ、孤児院を取り巻く状況は、カンボジア孤児院に限ったことではありませんが、いろいろな面で厳しくなって来ております。特に運営費においては、物価の上昇もあり、さらに必要を訴えてきております。

いつもながらで恐縮ではありますが、ただ皆さまの御支援をお願いするばかりであります。どうぞこれからも、皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願ひ致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

1年間の学びを終えて、ほとんどの子ども達が新学期までの休みに入りました。孤児院では、新学期がスタートするまでの期間を使って、スタッフ達と大学生達もローテーションに入って、次の学年で学ぶ為の準備として午前と午後のクラスをスタートしました。1人1人に苦手な科目もあるようなので、この間に少しでも克服できるようにと願っています。12年生(高校3年生)最後の試験になる高校卒業試験は、8月中旬に2日間行われます。学校はすでに休みに入っていますが、彼らは休みなしで毎日補習を受けに学校に通っています。諦めず最後まで頑張してほしいと願っていますし、全員合格を皆で祈り願っています。

5年毎に行われるカンボジアの総選挙が今年行われ、7月最終日曜日に投票が行われました。数人の子ども達も、選挙年齢に達して投票に参加しました。社会人としての責任を実感するよい体験になったのでは、と思っています。



孤児院での学習プログラムで学ぶ子ども達

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

成功者となるためには、勤勉であること、忍耐強くあること、たとえ失敗しても諦めずに進み続けることが大切だと子どもたちにいつも話しています。「勉強が段々難しくなっている」とよく子どもたちが言いますが、そんな時「それはとっても良いことだ」「挑戦し続けることが、人生において大切なことなのだ。」と答えます。難しいと感じているなら、それは子どもたちが真剣に勉強に取り組んでいる証拠です。勤勉さをもって挑戦し続けることが大切です。今月はダバオの人々が誇りにしている大きな祭りがあります。収穫祭であり、各部族の文化伝統を大切にしている祭り



カダヤワンの祭り

です。この間、各種コンテストが行われます。学校対抗のダンスコンテストも行われ、踊りと民族衣装を通して各部族の文化を紹介します。この祭りは8/4~8/22まで続き、8/17と8/20は授業が無く子どもたちも様々なイベントを見に行くことができます。8月は言語月間です。特にフィリピンの言葉、各部族の言語を大切にするという意味で、各言語での歌のコンテスト、エッセイや詩、またポスター作りのコンテストなどが学校で行われ、子どもたちは皆民族衣装を着て参加します。フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援を心から感謝致します。今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心より感謝申し上げます。

日本は猛暑の中、ザンビアは異常気象で寒い日々がここ数ヶ月続いています。最近他県で、滅多にないことですが、地震も起きたようです。今年いよいよ4人の子ども達が高校卒業を迎えます。そのうちの2人は、日本で技術を学ぶことを熱望していて、今、受け入れ先を求めています。現在、10月に始まる最終試験を目前に、ラストスパートで追い込みをしています。短大で会計士の学びを希望しているカレブも含め、全員が希望の進路に進めるように願っています。



左からカレブ、スティーブン、デビッド

ご支援をいただいて購入した中古車両ですが、タイヤ交換も含めた修理と整備が必要とされています。道が悪いために、ダメージを受けることが多く、既に色々な不具合がでてきてしまっています。そのために7~8万円が必要です。どうかご理解とご支援をお願いいたします。必要のもう一つは、もう一台の車両です。活動が多岐にわたり、どうしても、もう一台の車両を必要としています。その購入費用150万円、どうかご協力をよろしくお願いいたします。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援を感謝いたします。

日本での半年の滞在を終えて7月末ブラジルに戻りました。

今回は少しゆっくりサンパウロで1泊させていただいて、体調を崩したりせず、こちらでの生活のペースに何とかついて行くことができました。しかし、雨が降らないようで乾燥が厳しく、私の皮膚もまたガサガサに戻ってしまいました。

今までの住まいは、ガンバという小動物(日本では北米にならいポッサムというそうですが)が屋



孤児院の土地で放牧しているアンドレと松本スタッフ

根裏に住みついで衛生的に悪くなったため、一時的にシェアハウスに住んでいます。ブラジルに来たばかりの頃もシェアハウスに住んでいました。生活の様子が変わって、個人的には好きです。落ち着いて働けるよう別の場所を探しています。

皆様のご支援を引き続きどうぞよろしくお願い致します。